

気候熱化破滅目前になぜ沈黙が一層、進行？(最後の審判＝黙示録現代世界のカラクリ)

現状炭素放出趨勢が持続すれば破滅を科学者は承知、しかも 2010 年は全球的に素人目にも異常を感知、(北半球)収穫の秋を向かえて**食糧生産直撃**も見えた、なのに学会-政治家-実業界も一層沈黙!?, 今一度、その裏表カラクリを明かそう。 ’10/10/23

[1]: 資本主義支配と気候変動危機招来.

(1)米国資本主義中核は死の商人(他人死を肯定する殺しの反神哲学)。

近現代資本主義は富裕特権階級を許容しても、大衆により物質的生活を豊かにすると言うご利益で、大方である右翼労組運動¹⁾からも大目に見られてきた。またソ連中国共産主義の「宗教は阿片」と言うマルキシズに危機感を抱いた宗教権威は資本主義に組みした(世界的反共体制の成立)。宗教は富者が天国に至るは駱駝が針穴を通るより難しいと説いたはず。然るに欧米内情に通じたソ連 KGB 議長アンドロポフは自国が彼ら標敵化<際限なき軍拡競争経費の国民生活圧迫等>にあるのは損と判断、ゴルバチョフ等を登用して共産ソ連を自主解体してしまった<敵が無いと営業不振**米戦争経済**=米軍産複合体はクリントン政権下で大不況、そこで第二の敵として石油とイスラムの中東標敵化策が浮上→9/11 自作自演と中東違法侵略戦争>。他方共産中国も欧米に劣勢の己経済体制を見て、鄧小平氏の(社会主義)市場化経済移行を持って実質的に世界資本主義体制に参画。これら結果、ソ連も中国も急速に生活水準も思想も欧米化。だが 1973 年ローマ報告(limit to the growth)の警告如く、**大自然均衡を猛烈に破壊搾取**する超自己虫=世界資本主義競争は破滅兆候を示し始める。最終問題はこれを承知で世界最終淘汰戦争とする隠された米戦略(**operation END GAME**)。

¹⁾D. W. W. コンテ, 岡倉岩崎訳, CIA 黒書, 労働旬報社, 1968.

戦後 CIA は**国際労働運動の右翼化**を陰謀、現代労働運動にも大影響。以上が詳しい。

日米の民主党も例外に無いだろう。労組エリートは時に企業利益の代理人でもあるから。

(2)素人目にも判る 2010 年世界的異常気象を見るまでの経緯。

http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpinfo/climate_change/2005/1.2.3.html

近年アフリカ(飢餓疫病)とオーストラリアの大旱魃-大洪水、だが世界大勢は実質沈黙した。他方寒冷北極圏では 1997 年頃から異常兆候、終に **2007 夏季に氷層面積最小**を記録、温暖化現実証拠を見た気候変動科学者界に大衝撃、その結果、同年 11/17-IPCC(国連傘下世界気候科学諮問者会合)バレンシアで**最終警告となる声明**。現状趨勢次第では急速、又は不可逆な気候変動衝撃がある。急変化も不可逆で、こうなると助からないという非常にヤバイ意味。Risk of abrupt or irreversible changes Anthropogenic warming could lead to some impacts that are abrupt or irreversible, depending upon the rate and magnitude of the climate change. {p53}.

http://www.ipcc.ch/pdf/assessment-report/ar4/syr/ar4_syr.pdf

これで科学者良心は十字架を下したかも知れないが、大方素人市民には意味不明。だが2010年の半ば、北半球異常猛暑(中国パキスタン大洪水とロシア大火事)と南半球異常寒冷、これには素人世界市民も異常さに気づいた。咽元暑さが過ぎても収穫の秋で農作物が高騰!。里山奥で生きてた熊が里に下りての人に射殺される報道が頻発、山奥の猛暑飢饉は明白。筆者宅の弦巻インゲンと柿も例年にない不作<品種によっては豊作も、だが不作が主要>。気候科学者(報道機関)と素人は気まずい関係に、この異常気象に関して広告主支配の民間報道機関は一斉に温暖化の用語を逆に抑制する無様に至ってる。他方世界資本家、政治家、は超不都合目前にこれも異常沈黙。だが世界一般市民にも今、共通の最大生活難関={世界的不況下での減給と大失業問題}が目前に拡大してるのだ。

[2]:資本主義支配と宗教終末論=破滅脚本の思想背景(現状保守の場合)。

冒頭での筆者前提として、救済策があれば早急な **80%以上のCO2削減世界政策**²⁾であり、これはもはや世界的法制度強制以外に不可能と見る。即ち資本主義延命はありえない。
²⁾現状では無謀な値に見えるが日本戦後、1950年代ではこの値での生活、不可能でない。

(1)分裂させて支配せよ!

2009 ラクイア G8 (20) 会合での諮問科学者答申が 80%以上(但し実施が 2040?)、現状炭素放出量を固定しても温度上昇は止まらない。陸生海洋植物等での GHG 自然吸収量を最大値にして放射強制力(過剰熱入力)が正から負にならねば(要 30 年)全球温度低下が開始しない。この議論が政治はおろか、マスコミ、学会等の表では殆ど無い事から得る結論は現状保守大勢は自滅を逆に世界市民に強制、なぜ?、資本エリートの宗教偽装(終末論)での自滅願望?!。貴族資本家等の高地位にある者が没落に面すると悪魔化が起こる<サタン起源、この逆命題は「人は平等、ともに生きる」>。一般裕福市民でも没落に面すれば利己主義の手段を選ばず、道徳破綻も起こる。現状企業社会支配下での失業圧力は、社員をみなエゴ化する、他人連帯の配慮喪失。今の世界的不況下での失業圧力はもう個人努力では救済不能なのに政治連帯が表に未だ出て来ないのだ<個人も民族も国家間も仲たがいの分裂させて支配せよ(帝国主義資本の番犬=CIAの人心支配原理)>。**理由は過半数が未だ首がある現状維持多数派エゴに起因、未来と困窮者への生活配慮(真実直視)が無いからだ。**

(2)宗教終末論。

現状人類は大自然にも、己仲間にも裏切り(民族国家間闘争等)背信である。もし大自然再生なれば、宗教趣旨としても科学的にも両面救済になる。筆者推奨は有神論。理由は純科学<論理学による真空世界の矛盾成立性(全知全能)>に依拠、物理真空世界こそは何でもありの世界だから。そこで筆者は仏教、旧約、新約聖書、コラ-ン等を一部は読解、宗教予言こそはなんと無からの宇宙創始(コラ-ン)と現代人類史(戦争動物の人類)の悪魔化を的中。

<http://www.777true.net/slavejapan.pdf>

もし最後の審判＝終末があるとなれば、それは人類の神への背信、己仲間との絶えざる戦争と欲得に歯止めがない大自然を猛烈に破壊搾取した現状人類は**背信状態**(無神論者特徴は己の非を認めない)にある。悪魔に付き従う者には地獄が待つ(聖書, コラ-ン: 井筒俊彦訳, 岩波文庫 1957)。終末時代とは、智が薄くなり、命が軽んじられるとき、人が競って高い塔を建てる時³⁾とコラ-ンでは予言されてる。

³⁾佐々木良昭, 日本人が知らなかったイスラム教 (p213, 214), 青春出版, 1991.

実効的な現代思想の核心一つは無神論。神が無ければ全てが許されるという海賊無法思想、死んでも唯の骨、生きてる間にやりたい放題の典型が 9/11 自作自演と中東無法侵略 CIA-軍産複合体のブッシュの秘密結社＝骸骨と骨。ナチスも同類(ナチス親衛隊 SS も骸骨マーク)。戦時中のユダヤ人アウシュビッツ-ガス殺人工場大量虐殺は正に現代の黙示録、非白人のユダヤ人創始キリスト教では人間原罪教義(悔い改めよ)を説くので自己中心傲慢不遜な人間は、その顕在潜在意識での反感が起こる。そも原初的なモーゼ十戒が人間不正を裁き、世の中に秩序をもたらそうと言う極自然な倫理観に発してるのは明らか。世界史＝人間の覇権主義＝支配権力闘争では{騙し脅迫、そして戦争＝**不正**}が絶えない(近現代で最悪が軍需産業＝死の商人、現代米国では突出!)。世界エリートには有神論を偽装し、無神論を施工する者も多い。仏教政治分裂は、遠離転倒夢想究行涅槃(逆さな世俗を離れ(出家)、悟り追求＝個人救済の小乗仏教, 般若心経)。例外が日蓮法華経の積極的な政治関与での**大乘救済**(般若心経 vs 法華経で、前者が悟りを極めたに対し、後者は逆の難解(不偏推定)、故に核心教義は如是本末究行等(全部が等しく関わる＝**絶対平等**)。コラ-ンも神の下での**人の平等**、サタンは神勅命のアダムを拝せよと命じた時、拒絶、アダムは土から作られ、サタンは火から、己の方が上等と弁解で天界追放。サタンは神と信者人間への復讐を誓う。

他方宗教終末論には現状資本主義延命とその結果の人類破滅の口実にもなる?。人類破滅役は人を天上千年至福王国への案内人?。だが筆者解釈では無残な火炎地獄地球を死後、天上から見るはとても天国とは言いがたい。常識でも言うが、人は死後も生き残った家族愛人友人への愛情消滅がない。仮に全滅として、燃えカス地球?は全く無縁になるのだろうか。一般に流布される千年至福王国説では、この実現は突如としてなると言うが、気候変動最終段階での高温ガス炎上化までには相当の時間がかかるはず、地上生命一般と人類が即死とはなるまい。地球炎上最終段階を含む気候変動(温暖化)全過程での統合的科学解釈は以下が詳しい。メタン炎上後は硫化水素爆発の続行は聖書指摘の硫黄延焼地獄に対応。

<http://www.timesonline.co.uk/tol/news/science/article1480669.ece>

⁴⁾地球気候変動問題の核心点は全球温度がある**臨界点**を超えると、地球自身が陸上海中に内臓する温暖化ガスを温度増に追従して自然放出、温度は上昇、更にガス放出が増大の結果が原因を促進作用する**正帰還形成**への分岐点を越えると最終温度(地上炎上放出ガス燃焼消失)まで停止しない。

5) **新約聖書-テサロニケ人への第二の手紙:第二章からの抜粋.** Bible.et.nobres

0203> だれがどんな事をして、それにだまされてはいけない。まず背教のことが起こり、不法の者、すなわち、滅びの子が現れるにちがいない。

0204> **彼は、すべて神と呼ばれたり拝まれたりするものに反抗して立ち上がり、自ら神の宮に座して、自分は神だと宣言する。**

0205> わたしたちがまだあなたがたの所にいた時、これらの事をくり返して言ったのを思い出さないのか。0206> そして、あなたがたが知っているとおりに、彼が自分に定められた時になってから現れるように、いま彼を阻止しているものがある。

0207> **不法の秘密の力が、すでに働いているのである。ただそれは、いま阻止している者**
が取り除かれる時までのことである。 0208> その時になると、不法の者が現れる。この者を、主イエスは口の息をもって殺し、来臨の輝きによって滅ぼすのであろう。

0209> 不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、0210> また、あらゆる不義の惑わしとを、滅ぶべき者どもに対して行う
ためである。彼らが滅びるのは、自分らの救いとなるべき真理に対する愛を受け入れなかつた報いである。0211> そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力を送り、
0212> こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。

<http://www.geocities.jp/copyrightfreebible/2Thessalonians.html>

***A marvelous prediction in the Bible(Thessalonians).**

Proclaiming himself to be the man of **lawlessness**, and the son of **perdition**
who oppose and exalts himself above all that is called God or is worshiped,
he goes to sit on the temple of God, proclaiming himself God.

The coming of the **lawless one** will, by the power of Satan, with all kind of
miracles, signs and lying wonders, and **all with deception of wickedness** for those
who perish because **they received not the love of truth and be saved**

Therefore God sends them there **strong delusion**, that they should believe a lie,
so that all those who believed not the truth but had pleasure in unrighteousness
will be condemned. (2 Thessalonians 2/1-12)

<http://www.bibleetnombres.online.fr/biblecom/2thessal.htm>

[3]:2010年,全球的気候変動危機を目前にして沈黙の学会政界-労働財界エリート。

民主党は生活第一を党是に政権獲得、だが今夏猛暑と今秋作物高騰！、まさに生活危機でないか！、だが国会では相変わらずの政策優先順位ピンボケ喧騒議論が席捲、かような事態は欧州-米国指導者も類似で現実現場無視、変わらず局所紛争-金融危機議論等でその場凌ぎ。

(1)判る先進良心派市民を大規模絶望にやる大陰謀か?!!

過去20年長期に渡る“世界気候変動対処会議(COP)”は何ら実効的成果なしだった!!

先進国,途上国みな己エゴ一点張りで、**世界破滅**と言う共通認識を欠いたからだ。いや逆に「**深い危機認識にある人々に絶望感**」だけを催す為の世界ショーに見えるでないか?!一般世界市民にはあの程度の議論だから、危機は未だ遠い先の事だとの誤解流布陰謀?!気候変動現場(典型が北極海氷層融解の進行)を知り、かつ国会聴聞された気候科学者嘆きは「彼らは判らない」、だが筆者政治家対応経験では余りにも**現状体制超不都合**に思えるらしくて「判ろうとしない、又は口にできない」である。しかも彼らに都合良い事に、この問題での沈黙ではほぼ報道-与野党統一行動。国公立大学研究機関等の関係者対応経験では「判ってるが、誰も一様に口にしないから」。気候変動科学は気の利いた中高生-大学生ならばネット等を通じて相当の事が判る。逆に彼らは学会政界-報道と産業界の姿勢を見て絶望感だけを催すのではないか。彼らの半ば憤った証言によれば「気候変動危機問題は教室話題になる事は無い」と言うのだ。この調子では最近流行の気象予測会社と非化石燃料電力企業を除けば気候変動危機が職場議題になる会社も稀?!

「地球に優しい」などとはほど遠い、極めて過酷壮絶な大規模全球人の全能力で成るか否かの**最後の審判**、そも環境問題でなく**生存是非**問題、温暖化で無く、**気候変動破滅化**、既成の学校教育&マスコミ報道は現実真相とはほど遠い。何故か、世界の少数エリート実質独裁の**既成資本主義貴族体制(米ロックフェラー-&欧州資本-貴族)**が持たないからだ。現状世界市民は彼らの管理運営する監獄惑星の囚人奴隷にも等しい。

<http://www.prisonplanet.com/>

<http://www.planetextinction.com/>

(2)関係する科学者,政治家,報道機関は今後,真相が一層,一般人に見えたときどうする?。

現状の温暖化ガス放出に伴う**地球過剰熱入力**(放射強制力=1.6W/m²)は確実に全球温度を上昇(海洋大気流体運動エネルギー増大)させて気候乱動と各国への大きい被災をもたらすので誰の眼にも疑い得ない現実を見る事になる。かくなれば隠蔽してた科学者-報道機関と為政者への責任追及、生活状況次第では暴動も起こるだろう。気候変動危機はまず、生活根源たる農水業生産=食糧を第一に直撃するからである!!!。可能性は相反する二つ。

(3)政治警察国家化が急速に進行して国民弾圧装置になる。

米国ではFEMA(国家緊急事態での大統領権限集中統制令体制)が既に、槍玉に上がってる。他方で世界恐慌進行での失業圧力は企業下市民への政治統制弾圧力にもなる。だが殆どの大中小企業経営者として己の首が危ない状態だ。

[4]:大自然と人類再生脚本(人は共に生きる！=世界革新の場合)。

(1)2010年現代世界危機の黙示録性

付録で仏教般若心経の最終節とヨハネ黙示録冒頭一節が統一される事を解説するが、要は人は地上現世で良い行いをせねば、悪魔に付き従う者は最後の審判で地獄に落ちる。現代の過去歴史にない気候変動世界危機直面の今こそが正に最後の審判の黙示録時代に対応。神創造の生命圏地上を破滅させる様な背信詐欺師の人類が来世で救済があるはずが無い。なればヨハネ黙示録核心の千年至福王国樹立は、この地上で「人は共に生きるの実現⁷⁾」としての最終革命樹立の啓示では！、因みに次回 COP16 メキシコは世界同時共産革命提唱者のレオン・トロツキー没地でもある。彼は一国革命主義⁷⁾スターリン勅命で暗殺されてる。

6) **チリ鉱山事故**での生還者証言によれば、生存の鍵一つが落盤発生後から、救援物資小トンネル輸送開始までの暗闇孤立無援 18 日間の「33 人全員が共に生きる事」の同意決意だったと言う。リーダー采配で避難所貯蔵食糧消耗を救済開始までは 20 日と計算したらしい。

「絶対に希望を失うな」。こう繰り返しながら 32 人を励まし続けたという現場監督ルイス・ウルスアさんは救出される段階で、当然のように「33 番目」を志願した。彼は南米初の社会主義アジェンダ政権樹立とその後の政府-CIA 軍事転覆と弾圧では兄弟を失ってる。

<http://sankei.jp.msn.com/world/america/101014/amr1010142353020-n1.htm>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%94%E3%82%A2%E3%9D%E9%89%B1%E5%B1%B1%E8%90%BD%E7%9B%A4%E4%BA%8B%E6%95%85>

7) ロシア共産革命の秘密一つはそれが欧米超資本が己内部(西側)対立を回避する為に外部=ロシア等(東側)に共同の敵を設定(革命と革命政府の事後支援)する事にあった。事実、東西冷戦の構造、これを承知してたアンドロポフはソ連自主解散を決意したと見られる。因みにスターリン恐怖政治は西側一般市民の反共化を促した一つの要因だろう。東西冷戦(最優先客)を喪失した CIA 軍産複合体は新たな敵設定として中東イスラム世界を敵化。敵存在(人殺し哲学=無神論と優生主義)なくてはあり得ない米国軍事産業本質に留意。

(2)全人類が一致大同団結できる条件：

人類が一致大同団結できるには一つの超核心が必須である。一つは真の敵存在である。翻せばナチスのアウシュビッツ独ガス殺人工場とユダヤ人絶滅計画、戦後ナチス軍人幹部が大量密輸された米軍と CIA(ペーパークリプ作戦)、米陸軍フォートデトリック研究所開発の人工細菌兵器 AIDS、そして最終ゲーム作戦(気候変動全球大絶滅)もこの大量殺戮思想の延長上にある事に全人類は気づかねばならない。ともかく今回の全球気候変動危機は過去地球での海洋生命だけは生き延びた自然発生大絶滅(ペルミアン末期、PETM 期 etc)とは異質の全球海洋蒸発にもなりえる超絶滅、こうなると生命回復は極めて難しいだろう。その根拠理由一つは桁違いの人為炭素排出量の過去にない 100 年規模短期間での指数関数的増大、*ヨハネ黙示録でも海もないとの啓示(21:1)がある。

<http://www.777true.net/What-will-climate-change-do-to-our-planet.pdf>

将来における大規模融解でのエネルギー放出量は 108 メガトン TNT 火薬に等価、世界貯蔵の全核兵器の 100,000 倍以上に匹敵

(3) **困難至極だが最終救済策はある(全球ラマダン作戦)。**

<http://www.777true.net/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>

不幸な鉱山災害だが、救済での教訓は非常に示唆に富む貴重な経験として尊ぶべきだ。

(a) 暗闇孤立無援 18 日間での指導者采配窮乏生活。

→ 炭素放出削減 80%以上での地球総司令部采配での窮乏生活 (30+30) 年前後、

初期 30 年で温度上昇停止、後期 30 年から温度低下開始と現状温度復帰。

世界市民は銃弾, 爆弾はないが、実体は危機統一対処への **戦時体制兵隊生活** です。

(b) 「33 人全員が共に生きる事」の同意決意

→ 「地上生命全員が共に生きる事」の同意決意。 **現状必須はこの認識に集中!!!**

これを否定した時の状況を想うべし!!!。

(c) 「絶対に希望を失うな!」、指導者の日常訓示、

注：上記の全球ラマダン作戦は、過去に筆者が思いついた可能性を羅列した内容で、不足不備は当然あり、完全なものでは到底ない。議論開始の為の一つのたたき台の提供である。核心の **炭素吸収** に関しては **陸上大規模植林** に限らず、食糧生産にも支障がない(?) 海洋での効率の良い “喪の” 植林の提案もある (science dairy/10 月)、要は全球市民の総能力動員、かくなる体制が一度築かれれば、相当の改善提案が続出するだろう。

後記：筆者の議論根拠をなす最大根源は **恒真性** を演繹する頂上科学 = 論理学。

筆者気候変動予測の基礎根拠は {**熱力学第一&二法則、積分形式の流体力学方程式 (I)**

(多少ヤバイがスパコン抜きで可能な、マクロ流体運動の便利な定性解釈)、輻射場と物質の理論 (**放射強制力 (地上過剰熱入力) の原理式 (II)**)}、気候変動科学 & 政治思想の総括 (III)。

I : <http://www.777true.net/easyFD.pdf>

II : <http://www.777true.net/Radiative-Forcing-0dim-Model-pl.pdf>

III : <http://www.777true.net/Whole-Looking-on-Climate-Crisis.pdf>

それと {**複数者が認める過去 (古代気候も含む) 現状の観測データ状況で信頼できる内容**} としてる物である。その結果が如何に不都合な予測を結論しても公開する (過去サイト提示内容には現段階では誤と認められる箇所が複数あり、後日訂正予定)。その結果が読者に脅して人を動かそうとしてると想うならば素人 (玄人) 邪推である。ブラジル人預言者ジュッセリーノ氏も同様に嘆く事だが、未来予測予言は良き将来を願ってしてて無用な危惧や反感 (お陰で筆者は妨害も支援も) を人に抱かせる為ではない。だが未来現実には現状多数人が思い込む状況でない事、危機回避が不可能という確定根拠がない事は言える。むしろ現状最大困難は目先実態が虚妄惑わし陰謀なのに背後真相を見ようとしない多数派の **集団同調** の甘え、民主化に命がけの本命小沢氏排除勢力こそは真相を見ない戦後支配逆さサタンの手先、南米ペルーで民主化推進に是も命を賭けた A. 藤森元大統領は米陰謀で今、獄中。真実正義が弾圧されるは現代世界が悪魔支配、多数派がその同調者だからだ。

付録1:般若心経は肯定/否定が存在の二値論理学(恒真式)、

<http://holyangel.ld.infoseek.co.jp/sinkyou.htm>

本文**経文**の趣旨は、物質世界である現世では、闇あれば光あり、善あらば悪あり、生あらば死あり、の時に応じて肯定否定のいずれか一方が実現する移ろう世界(時間進行)。当前の二値論理(恒真式)を述べてる。核心は時間無進行?の空世界(真空=来世)は**肯定否定同時成立の矛盾世界**(これは量子物理の真空から素粒子反粒子が同時に生成、そして消滅する反応が対応)、論理学定理として矛盾成立なれば全部が真(物理法則制約なしの魔法化世界!!!)。末尾**呪文**は現世来世間往来、通信(**全知全能(=神)世界**の啓示)。般若心経は超能力者予言。

羯諦羯諦 : 往ける者よ往ける者よ

波羅羯諦 : 悟りの境地<来世>に往ける者よ

波羅僧羯諦 : 悟りの境地に共<使者,預言者>に往ける者よ

菩提娑婆訶 : 悟り<**全知全能世界=神**>よ 幸あれ!

付録2:新約“ヨハネ黙示録”に於ける神と預言者の論理<青色部分は筆者補足>。

<http://bible.salterrae.net/kougo/html/revelation.html>

人類終末予言、最後の審判と至福王国樹立、背信者は地獄落下。

第1章(部分抜粋、伝道者ヨハネの下に神が降臨、予言を告げる最初の下り)。

1:17わたしは彼を見たとき、その足もとに倒れて死人のようになった。すると、彼は右手をわたしの上において言った、「恐れるな。

(1)わたしは初めであり、終りであり、

(2)**1:18**また、生きている者である。わたしは死んだことがあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。

(3)そして、死と黄泉とのかぎを持っている。**1:19** そこで、あなたの見たこと、現在のこと、今後起ころうとすることを、書きとめなさい。

(1)私はアルファであり、オメガである(全部=全知全能=神)と言う記述もある、

(2)生者ヨハネの臨死体験(幽体離脱)か、(超能力者=現世来世往来者)。

(3)死と黄泉とのかぎ”を持っている=死者世界=来世=真空世界=全知全能世界。

(4)問題の鍵と言うのは”人類将来への警告予言”、ヨハネを予言伝道者に指名してる場面。

*かような天界との会話を通じた**現世人予言伝道**はムハンマド(イスラムコラーン)、

現代人預言者ジュセリーノ氏の場合等と酷似。後者は現代世界に於いて**気候変動危機**を強力に説く数少ない預言者、彼趣旨は人類の**大自然破壊の大罪**に覚醒する警告。ちなみにブッシュ政権下財務長官として2008年レーマン破綻を強行した元ゴールドマンサックス会長H ポールソン長官は自然治癒のキリスト教義を教育された熱狂的隠れ**自然保護者**。

http://money.cnn.com/magazines/fortune/fortune_archive/2004/01/12/357911/index.htm

*予言に関して重大事は、我等の意思次第で未来は変更可能な事、J氏も強調してます。

付録3:新約『ヨハネ黙示録』に於ける大破滅と千年至福王国樹立の即発性?!

出典：口語訳聖書(日本聖書協会 1954年)。

<http://bible.salterrae.net/kougo/html/revelation.html>

筆者が直に読んだ限りでは背信腐敗都市バビロンが一瞬にして滅びる記述はあるが、それは皆が至福王国樹立へ直結と言う記述にはなっては居ない(第18章:10,19)。人を惑わした背信者悪魔は地獄で永遠に苦しむ事になる(第20章:10)。

第20章(サタンと最後の審判、下線は筆者加筆)。

20:1またわたしが見ていると、ひとりの御使が、底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から降りてきた。**20:2**彼は、悪魔でありサタンである龍、すなわち、かの年を経たへびを捕えて千年の間つなぎおき、**20:3**そして、底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終るまで、諸国民を惑わすことがないようにしておいた。その後、しばらくの間だけ解放されることになっていた。

20:4また見ていると、かず多くの座があり、その上に人々がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。また、イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の霊がそこにおり、また、獣をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。**20:5**(それ以外の死人は、千年の期間が終るまで生きかえらなかつた。)これが第一の復活である。**20:6**この第一の復活にあずかる者は、さいわいな者であり、また聖なる者である。この人たちに対しては、第二の死はなんの力もない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストと共に千年の間、支配する。

20:7千年の期間が終ると、サタンはその獄から解放される。**20:8**そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴグ、マゴグを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い。**20:9**彼らは地上の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。**20:10**そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣もにせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである。

20:11また見ていると、大きな白い御座があり、そこにいますかたがあつた。天も地も御顔の前から逃げ去って、あとかたもなくなった。**20:12**また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であつた。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。**20:13**海はその中にいる死人を出し、死も黄泉もその中にいる死人を出し、そして、おのおのそのしわざに応じて、さばきを受けた。**20:14**それから、死も黄泉も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。**20:15**このいのちの書に名がしるされていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

第21章(冒頭部分抜粋、天国と地獄)。

21:1 わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなつてしまった。 21:2 また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のもとを出て、天から下つて来るのを見た。 21:3 また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、 21:4 人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである」。

21:5 すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たにする」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。 21:6 そして、わたしに仰せられた、「事はすでに成つた。わたしは、アルパでありオメガである。初めであり終りである。かわいている者には、いのちの水の泉から価なしに飲ませよう。 21:7 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであらう。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。 21:8 しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である」。